

科目No. 33 科目名 健康支援と社会保障制度 医療と倫理 時間割表記名 医療と倫理②	配当時期 4年次全期 単位数 1/2 単位 時間数 14時間 (7回)	担当者 あおき あつひで 青木 淳英
事前学習内容 新聞やニュース、ドキュメンタリーなどを通じて、普段から医療や福祉、介護の問題に関心を持って授業に臨むこと。 なお、公衆衛生学、地域看護学、在宅看護学、保健医療福祉論は関連性がある。		
科目全体のねらい・授業目標 「医療と倫理②」の授業の目的は、(1)医療従事者として、専門職の視点で「倫理問題」を考える、(2)患者・当事者が抱えている問題について理解を深める、の2点である。授業を通して、(1)医療従事者として直面するであろう「倫理問題」について広く関心を持ち、多角的な視点から考えることができる、(2)自分の意見を持ち、論理的に表明することができる、という力量の獲得・向上を目指す。		
授業の流れ(全体のスケジュール(回数)・学習内容・方法・学習成果・使用テキスト・準備物品等) 第1回 オリエンテーション/少子高齢社会・人口減少社会の到来 <授業目標> 少子高齢社会・人口減少社会の到来とその影響について理解する。 第2回 ダイバーシティ - 医療現場での課題 <授業目標> 「多様性」を踏まえた医療現場での課題について考え、議論する。 第3回 パンデミック - 医療従事者が直面する課題と患者・家族への対応 <授業目標> パンデミック下における患者・家族の思いを踏まえた対応について考え、議論する。 第4回 病児・障害児 - 子どもホスピス <授業目標> 重い病気や障害を抱えた子どもやその家族への支援を考察する。 第5回 障害者迫害 - 優生思想と向き合う <授業目標> 優生思想に向き合い、「命の価値」について考察する。 第6回 難病：命をめぐる対話 <授業目標> 「閉じ込め症候群」の患者とどう向き合うか、「いのちとは何か」を考える。 第7回 貧困 - メディカル・プア <授業目標> 個人の経済力が健康格差を生んでいる状況について考察する。 ※授業進度に応じて、内容を変更することがある。		
受講上の注意 授業は資料・視聴教材を題材として、講義・演習（個人ワーク、グループワークなど）形式で進めていく。各自が授業テーマについて深く考え、グループにおいても活発に議論するなど、授業に積極的に参加してほしい。	評価方法 筆記試験、受講態度、事前・事後課題で評価する。	
使用するテキスト テキストは使用しない。毎回配布する資料等をもとに授業を行う。 参考文献 『系統看護学講座 別巻 看護倫理』（医学書院）		

科目No. 33		配当時期	4年次後期	担当者
科目名	健康支援と社会保障制度 医療と倫理	単位数	1/2単位	にしざわ 西沢 いづみ
時間割表記名	医療と倫理①	時間数	16時間(8回)	
事前学習内容 「いのちとは何だろう」を考え続けることは、人間に与えられた永久のテーマです。 生殖補助医療・再生医療・先端医療技術の研究と臨床応用が進むなか、これら生命科学とどう向きあ ていけばよいのかを考えることが倫理です。いのちに対する自分なりの価値観をもち、社会のなかで科学がど のような位置づけにあるのかを考えることが重要です。				
科目全体のねらい・授業目標 看護に携わる学生にとって必要な生命倫理の課題に取り組みながら ①技術の存在意義や利用の仕方、人間の生きる方向性を考える ②自分以外の人のお話や考え方に耳を傾ける ③自分の意見を述べる能力を養う ことを目標とする。 「百年前ぼくはここにいなかった。百年後ぼくはここにいないだろう。」 一瞬のいのちが持つ不思議さを様々な角度から見つめてみましょう。				
授業の流れ(全体のスケジュール(回数)・学習内容・方法・学習成果・使用テキスト・準備物品等)				
	学習内容	方法	学習成果	テキスト
1	倫理学とは何か あなたの「いのち」は誰のものです か	講義とDis	自分が現在もっている「いのち」に対する価値観 を認識する。	テキスト1章 資料配布
2	「ここのりのゆりかご」特別養子 縁組	講義とDVD	「ここのりのゆりかご」の存在意義と社会的背 景を考える。いのちのボタン (DVD) 鑑賞。	テキスト10章
3	生殖補助医療と出生前診断	講義とDVD	子は授かるものからつくるものへ、つくるものからつ くられるものへと変わる。その過程のなかで、いの ちを考える。	テキスト8・9章
4	医療倫理の歴史と課題	講義とDis	生命の尊厳と生命の質及びインフォームドコンセ ントの意味について理解し、実践に生かす。	テキスト6章
5	脳死と臓器移植	講義とDis	脳死と臓器移植の実態を踏まえた上で、社会 的背景と抱える問題を考える。	テキスト13章
6	脳死と臓器移植；長期脳死の 実態	講義とDVD	長期脳死のドキュメント鑑賞	テキスト13章
7	「安楽死と尊厳死」	講義とDis	安楽に死にたいですか？尊厳をもって死にたい ですか？死がもつ意味を考える。	テキスト14章
8	「安楽死と尊厳死」	講義とDVD	ALS囁託殺人事件(DVD)を考える。死に追い やったものは何か。	テキスト14章
受講上の注意 あなたの人間に対する興味、知ろうとする意欲を持参してください。 グループディスカッションでは、自分の意見を積極的に発言してください。			評価方法 グループディスカッションの様子と 各回提出のレポート内容で評価します	
使用するテキスト 西沢いづみ『生物と生命倫理の基本ノート』金芳堂				

科目No. 34		配当時期	担当者
科目名	健康支援と社会保障制度 家族社会学	4年次全期	たなか れいこ 田中 励子
時間割表記名	家族社会学	単位数 1単位	
		時間数 16時間(8回)	
事前学習内容 家族をとりあげたDVDや新聞記事をみる機会を持ち、社会に対する問題意識を高めて下さい。			
科目全体のねらい・授業目標 I 現代家族の機能崩壊とその社会的背景について理解する II 生活体システムとしての家族への援助にかかわる着眼点について学ぶ			
授業の流れ(全体のスケジュール(回数)・学習内容・方法・学習成果・使用テキスト・準備物品等)			
I 家族の人間関係			
1	高齢化と少子化	人口動態データから分析する	
2	援助システムとしての家族	家族の範囲はどこまでか話し合う	
3	現代家族の機能と役割	多様な家族像について知る	
4	家族の病理現象	家族の人間関係から生じる危機	
II 家族看護の進め方			
5	家族システムと看護	新聞や映画を題材に 家族の社会的病理をとりあげる	事前学習 GW
6	家族が危機を乗り越える ための援助	解決に導く手順を話し合う	GW
7・8	援助の取り組み方		グループ発表
受講上の注意 積極的な発言や意見を期待します。 他の受講生との活発な話し合いも望みます。			評価方法 発表 : 50% レポート : 40% 出席 : 10%
使用するテキスト 適宜、資料を配付します。 初回講義には必ずこのシラバスを持参すること。			
参考文献 『現代家族の社会学』石川実(編)、有斐閣 『病と死の文化』波平恵美子、朝日新聞社			

科目No. 36		配当時期	担当者
科目名	健康支援と社会保障制度 保健医療福祉行政論Ⅱ	4年次全期 単位数 1単位	なかひら よしき 中平 克樹
時間割表記名	保健医療福祉行政論Ⅱ	時間数 30時間(15回)	
事前学習内容 保健・医療・福祉の動向に関心を持ち、政治・経済・社会情勢と連動した法 や制度の改正を知るよう努めてください			科目と期待する卒業生像との関連 10
科目全体のねらい・授業目標 地方公共団体の保健医療福祉行政施策を理解し、生活する人々の特性と地域の状況に応じて、 各地域で効果的な実践活動ができる力量を得る。			
授業の流れ(全体のスケジュール(回数)・学習内容・方法・学習成果・使用テキスト・準備物品等) 「健康な生活」は、保健医療福祉行政のめざすものを具体的に表現したものと見える。			
第1回	地域保健に関する公的機関 1	都道府県と市町村の役割分担	
第2回	地域保健に関する公的機関 2	保健所等の仕組み	
第3回	関係機関との連携	職域、学校との連携、民間との協働	
第4回	社会保障制度の理念と仕組み	社会保障制度の目的や分野ごとの特徴	
第5回	医療制度と政策 1	医療保健や医療提供体制の法規	
第6回	医療制度と政策 2	医療安全対策、医療対策	
第7回	介護保険制度	介護保険の目的、仕組み	
第8回	社会保障・社会福祉の制度 1	社会保険、生活保護	
第9回	社会保障・社会福祉の制度 2	社会福祉の各分野	
第10回	地方公共団体の保健医療福祉計画	各種計画の目的、内容	
第11回	保健計画の策定プロセス 1	策定プロセスの概要	
第12回	保健計画の策定プロセス 2	策定プロセスの概要	
第13回	保健計画の推進と評価	計画の評価方法	
第14回	保健事業の立案プロセスを学ぶ 1	立案プロセスの概要	
第15回	保健事業の立案プロセスを学ぶ 2	立案プロセスの演習	
受講上の注意 テキスト、国民衛生の動向を中心に学習を進め、演習では 調べた内容をまとめて報告します。 日々の社会情勢に興味をもって、授業に臨んで下さい。			評価方法 筆記試験 提出物
使用するテキスト 標準保健師講座 別巻1 保健医療福祉行政論 医学書院 国民衛生の動向 厚生労働統計協会			
参考文献			

科目No. 40	健康現象の疫学と統計	配当時期 4年次全期	担当者
科目名	疫学	単位数 1単位	おだに きよこ 小谷 清子
時間割表記名	疫学	時間数 30時間(15回)	

事前学習内容
「保健統計Ⅱ（統計学）」の講義内容について、復習しておいてください。

科目全体のねらい・授業目標

この講義では、疫学の方法を理解することで、人間集団の健康状態を把握し、様々な健康問題の背景因子をさぐるとともに、解決に向けた対策（保健活動）につなげることのできる基礎的な能力を養うことを目標としています。

1. 疫学の基本概念、研究方法とその応用について理解する。
2. 保健統計の意義と統計手法の基礎を理解する

授業の流れ(全体のスケジュール(回数)・学習内容・方法・学習成果・使用テキスト・準備物品等)

回数	学習内容	方法	学習成果	テキスト
1回目	疫学とは、疫学の歴史 集団の健康状態の把握	講義 演習	疫学の歴史・概念について理解する 疫学指標について理解する	1章 2章
2回目	疫学の指標①	講義 演習	疫学指標について理解する	2章
3回目	疫学研究方法①	講義 演習	疫学の方法について理解する	3章
4回目	疫学研究方法②	講義 演習	疫学の方法について理解する	3章
5回目	疫学研究方法③	講義 演習	誤差・バイアスについて理解する	3章
6回目	疫学研究方法④	講義 演習	交絡、因果関係の立証について理解する	3章
7回目	疾病登録	講義 演習	疾病登録（がん登録）について理解する。	5章
8回目	情報の管理・活用	講義 演習	情報の管理・活用について理解する 基幹統計について	11章
9回目	疾病の予防とスクリーニング	講義 演習	スクリーニングの目的、指標等について理解する	4章
10回目	疾病の予防とスクリーニング	講義 演習	各指標を用いた計算ができる	4章
11回目	保健統計学①	講義 演習	データの種類と分布を表す指標を理解する	8章
12回目	保健統計学②	講義 演習	記述統計と統計的推論について理解する	8章
13回目	保健統計学③	講義 演習	仮想データを用い、Excel演習（基本統計量）ができる	8章
14回目	保健統計学④	講義 演習	仮想データを用い、Excel演習（検定）ができる	8章
15回目	まとめ	講義 演習	今までの内容を理解できているか確認する	全体

受講上の注意

- ・適宜、小テストの実施あるいはレポートの提出を求めます。
- ・講義内容、演習課題については各自よく復習しておくこと。

評価方法

出席・提出物	20点
筆記試験	80点

使用するテキスト

標準保健師講座 別巻2 疫学・保健統計学（医学書院）

参考文献

シンプル衛生公衆衛生学（南江堂）
やさしい統計学入門（診断と治療社）
国民衛生の動向（厚生統計協会）
厚生指標（厚生統計協会）

科目No. 69		配当時期 4年次後期	担当者 のま ゆうこ 野間 裕子
科目名 母性看護学 女性のライフサイクルと健康	単位数 1単位	時間数 20時間(10回)	
時間割表記名 女性のライフサイクルと健康			
事前学習内容 ○2～3年次の母性看護学授業内容および母性看護学実習全ての知識を活用します。 ○学習者自身も看護の対象であることを意識し、自らが正しい性の知識をもち、自分の身体を大切に、相手のことも思いやる、そうした気持ちを育むセクシュアリティの教育です。関連のある文献、書籍を読んでおいて下さい		科目と期待する卒業生像との関連 1～18	
科目全体のねらい・授業目標 1. ライフサイクル各期において女性とその家族の「性と生殖に関する健康と権利」を保障するための援助を学ぶ 2. 看護者自身が自己の性と向き合い、健康なセクシュアリティを持ち、性と生殖に関する諸問題について考え 母性看護のあり方を学ぶ 3. 思春期を対象としたリプロダクティブヘルスに関する健康教育を企画、実践することができる			
授業の流れ(全体のスケジュール(回数)・学習内容・方法・学習成果・使用テキスト・準備物品等)			
回数	学習内容	方法	学習成果
1回目	母性看護の基本となる考え方 リプロダクティブヘルス・ライツ	講義、GW	①シラバスの内容とその進め方が理解できる ②母性看護学の既有知識を想起し、母性看護のあり方について理解する
2回目	女性のライフサイクル各期の看護 思春期・成熟期・更年期～	講義、GW	①助産師、看護師の思春期教育の実際について理解する ②地域の助産師活動について知り、ライフサイクル各期の健康教育の意義を理解する ③ジグソー法学習法の課題のすすめ方について理解する
3回目	女性のライフサイクル各期の看護 思春期・成熟期・更年期～	講義、GW	①思春期・成熟期・更年期の身体的・心理・社会的特徴が理解できる ②思春期・成熟期・更年期の健康課題に対する看護・セクシュアリティの看護が理解できる
4回目	女性のライフサイクル各期の看護 思春期・成熟期・更年期～	講義、GW	①思春期・成熟期・更年期の身体的・心理・社会的特徴が理解を深める ②思春期・成熟期・更年期の健康課題に対する看護が理解を深める ③専門家チームで共有したことをジグソーセッションで 教え合う学習 をすることができる
5回目	思春期・成熟期・更年期女性の セルフケア高めるために	講義、GW	①ジグソーでの学びをもとにセルフケアを高める具体的援助を考えることができる ②三角ロジック法、インストラクショナルデザインについて理解する
6～8 回目	思春期・成熟期・更年期女性の セルフケア高めるために	グループ学習	①思春期・成熟期・更年期女性に対する健康課題に対する健康教育を企画し、指導案を作成できる ②成果物作成に向けて、グループで協力して取り組むことができる
9・10 回目	健康教育企画プレゼンテーション	成果発表会	①健康教育の企画についてプレゼンテーションすることができる ②健康教育企画のプレゼンテーションを評価し、自己の課題を明確にする
受講上の注意 産む性という印象が強い「母性看護」ではなく、リプロダクティブヘルスの視点で女性の生き方や男性としての性について自己の考えを深められるようディスカッションしていきましょう。本授業では、思春期、成熟期、更年期の健康問題に対するセルフケアについての理解を深めていきます。看護職として、健康教育（ワークショップ）を企画し、オリジナリティのある指導案を作成できるようグループダイナミクスを活用し取り組みましょう。			評価方法 筆記試験（30点程度） レポート課題（70点程度） 小テスト グループワークの取り組み状況
使用するテキスト 系統看護学講座 専門Ⅱ 母性看護学（1） 母性看護学概論 医学書院 系統看護学講座 専門Ⅱ 母性看護学（2） 母性看護学各論 医学書院			
参考文献 授業の中で紹介します			

科目No. 86		配当時期 4年次全期	担当者
科目名 公衆衛生看護学 公衆衛生看護管理論		単位数 1単位	安藤 えつ子
時間割表記名 公衆衛生看護管理論		時間数 30時間(15回)	
事前学習内容			科目と期待する卒業生像との関連 15.16
科目全体のねらい・授業目標 公衆衛生看護管理の目的と機能を理解する 住民の権利保障と健康危機管理の必要性を学ぶ			
授業の流れ(全体のスケジュール(回数)・学習内容・方法・学習成果・使用テキスト・準備物品等)			
回数	学習内容	方法	学習効果
1回	健康危機管理の基本	講義 演習	健康危機管理の理念と目的について理解する。
2回	災害保健活動		東日本大震災、熊本地震、能登半島地震における災害保健活動の実際から、災害保健活動の基本、災害サイクルに応じた保健師活動を理解する。
3回			
4回			
5回			
6回			
7回	感染症集団発生への保健活動		感染症集団発生時における、感染症調査の基本、感染症の種類や対象施設への対策を理解する。
8回			
9回			
10回			
11回	公衆衛生看護管理		公衆衛生看護管理の基本や公衆衛生看護活動に関する法令を理解する。
12回			
13回			
14回			
15回	まとめ		これまでの学習内容を理解できているか確認する。
受講上の注意 予習：地域保健法など関連法規の復習 授業：グループワークを含む演習			評価方法 出席 レポート
使用するテキスト 標準保健師講座 1 公衆衛生看護学概論 医学書院 標準保健師講座 別巻 1 保健医療福祉行政論 医学書院			

科目No. 88		配当時期 4年次全期	担当者
科目名 看護の統合と実践 看護の統合と実践Ⅱ	単位数 1単位	山口 さゆり	
時間割表記名 看護の統合と実践Ⅱ	時間数 30時間(15回)	科目と期待する卒業生像との関連	
科目全体のねらい・授業目標 1. OSCEを通して、自己のセーフティマネジメントにおける課題を明らかにし、マネージメントスキルの向上を図る。 2. 医療の場の倫理的ジレンマを分析し、組織的に質の高い看護を提供するための能力を培う。		1.2.4.5.7.17	
授業の流れ(全体のスケジュール(回数)・学習内容・方法・学習成果・使用テキスト・準備物品等) ＜セーフティマネジメント＞			
回数	学習テーマ	学習成果	方法・備考
1回目	オリエンテーション 1. 安全を守ることの重要性 2. 医療におけるセーフティマネジメント 3. エラーが発生する理由	医療安全とは何か、法的根拠や対策が理解できる 対策が必要となるその背景が理解できる インシデントとアクシデント、エラー発生 の機序が理解できる	講義
2回目	4. 看護をめぐる医療事故の現状 5. インシデントレポート	看護現場でよく起きる事故について理解できる インシデントレポートの書き方が理解できる 提出：インシデントレポートの書き方 (GW) 宿題：就社業務で何が起きるのか (個人)	講義 & GW
3回目	6. セーフティマネジメント向上のための取り組み ①注射業務と事故防止 ②Pm-SHELLモデル	注射業務でのリスクがグループで分析できる 提出：注射業務のリスクと事故予防 (GW)	講義 & GW
4・5回目	③医療事故の分析 実際発生した事故を分析する	過去に発生した事故の状況を把握し、グループで分析できる PmSHELLで事故を分析する 提出：PmSHELL分析レポート (GW)	講義 & GW
統合実習後			
＜看護倫理＞			
6回目	看護倫理 1. 看護実践上の倫理的概念 2. 看護師の倫理綱領	看護職の期待される役割と看護専門職としての責任が理解できる 倫理症例で、ナラティブを考える 提出：ナラティブレポート (個人)	講義 & GW
7回目	3. 看護職の倫理的責任	事例を通して倫理的責任が何であるかを考える	講義 & GW
8・9回目	4. 倫理の事例の分析	事例の倫理的葛藤について理解し、ディベートができる グループの意見をまとめ、発表できる 提出：発表Power Point (GW)	GW 講堂 または大会議場
10回目	5. 意思決定支援	意思決定をどのように支援するのか自分の意見を述べるができる	講義
11回目	医薬品の取扱い	医薬品 (麻薬、抗精神病薬など) の取扱いや保管方法が理解できる	講義
12・13回目	OSCE	グループでOSCE課題の実践を考える	演習室
14・15回目	OSCE OSCEまとめ	OSCEの実施 医療安全・看護倫理の学習を通して、学びの確認と自己の問題・課題を明確にする	演習室
受講上の注意 医療安全の意義や背景の理解、看護職としての倫理的責任の理解はこれからの就労環境での重要事項です。授業のケースを自分自身が直面する事象と考えて、グループワークやOSCEに積極的に取り組んでください。		評価方法 1.出席、GW参加状況、提出物 40点 2.筆記試験 30点 (看護倫理) 3.OSCE 30点	
使用するテキスト 系統看護学講座 看護の統合と実践 [1] 看護管理 医学書院			
参考文献 系統看護学講座 看護の統合と実践 [2] 医療安全 医学書院、看護実践の倫理 日本看護協会出版会			

科目No. 89 科目名 看護の統合と実践 看護管理と国際協力 時間割表記名 看護管理	配当時期 4年次全期 単位数 1/2単位 時間数 14時間(7回)	担当者 たかぎ かなこ 高木 加奈子 てらうち ももこ 寺内 桃子
事前学習内容 ナーシング・グラフィカ基礎看護学①看護学概論 社会的機能としての看護・看護の統合と今後の展望について復習しておいてください		
科目全体のねらい・授業目標 看護をサービスとして捉え、マネジメントとは何かを知る 看護ケアを提供するための看護職の機能と、チーム医療の一員としての役割を理解する マネジメントに必要な知識と技術を理解する		
授業の流れ(全体のスケジュール(回数)・学習内容・方法・学習成果・使用テキスト・準備物品等) 学習内容 看護サービスのマネジメント サービスとはなにか マネジメントとはなにか マネジメント仕組み 看護におけるマネジメント 看護ケアのマネジメント 看護ケアのマネジメントと看護職の機能 チーム医療の一員としての役割 日常業務のマネジメント マネジメントに必要な知識と技術 リーダーシップとマネジメント 組織の調整 組織と個人 看護職のキャリアマネジメント		
受講上の注意 グループワークを行います。参加する態度を評価します。積極的な参加をお願いします。	評価方法 事前レポート 参加する態度 筆記試験 (45点)	
使用するテキスト 系統看護学講座 看護の統合と実践 [1] 看護管理 医学書院 ナーシング・グラフィカ基礎看護学①看護学概論 参考文献 新体系 看護学全書<別巻>看護管理 看護研究 看護制度		

科目No. 89		配当時期 4年次全期	担当者
科目名 看護の統合と実践 看護管理と国際協力	単位数 1/2単位	時間数 16時間(8回)	山口 さゆり
時間割表記名 国際協力			
事前学習内容 ①私にとっての国際看護・国際協力とは(300字程度)			科目と期待する卒業生像との関連 1.2.5.18
科目全体のねらい・授業目標 1. 日本や諸外国および国際機関における国際保健・医療・看護協力活動の歴史や現状を知り、グローバルな視点で国際看護を考える。 2. 日本における外国人を取り巻く状況を理解し、彼らの健康課題と保健・医療・看護活動の実際を学ぶ。			
授業の流れ(全体のスケジュール(回数)・学習内容・方法・学習成果・使用テキスト・準備物品等)			
回数	学習テーマ	学習成果	方法
1	オリエンテーション、国際協力 1) 国際看護・国際協力とは何か 2) 国際看護・国際協力の実際	国際看護(global Nursing)とは何かがわかる 国際協力の歴史・背景・現在がわかる ②国際協力機関	講義 & GW
2	ミレニアム開発目標 1) MDGsとは 2) 発展途上国の実際 (UNICEFエリナの物語を読む)	なぜMDGsが必要だったのか、MDGsの達成度と残された課題がわかる ③エリナをみて(アフリカの物語)	
3	持続可能な開発目標 1) SDGsとは 2) 自分たちにできること	SDGsとは何か、なぜ必要なのかかわかる SDGsに対する自分自身の取り組みが言える	
4	英国での看護 1) 外国での看護の実際 2) 外国人看護師	多文化の中での看護がわかる 外国人看護師の実際がわかる	
5	日本における外国人看護① 1) 日本在住の外国人	日本在住の外国人の生活の特徴がわかる 日本在住の外国人が直面している問題がわかる ④日本在住外国人の問題	
6	日本における外国人看護② 1) 外国人のケアの特徴	日本在住の外国人のケアの特徴がわかる	
7	外国人と災害 1) やさしい日本語	日本在住の外国人が災害にあったときの問題がわかる ⑤やさしい日本語	
8	異文化コミュニケーション 1) 文化・常識の違い	異文化とは何か、お互いの違いをどうケアに活かすかわかる	
受講上の注意		評価方法	
・提出物の期限は厳守して下さい。 ・授業への積極的参加を期待しています。		・出席状況(2点) ・個人課題・グループワーク課題(①～⑤×6点) ・最終レポート(23点)等で評価(計55点)	
使用するテキスト:			
参考文献: 新体系 看護学全書39 看護の統合と実践③ 国際看護学 メヂカルフレンド社 系統看護学講座専門① 看護学概論 基礎看護学 [1] 医学書院			

科目No. 91	担当時期	担当者
科目名 看護の統合と実践 看護研究Ⅱ	4年次全期	緒方 巧 上山みゆき 山口さゆり
時間割表記名 看護研究Ⅱ	単位数 2単位	
	時間数 60時間(30回)	

事前学習内容	科目と期待する卒業生像との関連
1.教科書『看護研究』と看護研究Ⅰの授業資料を復習して、各回の授業に臨む。 2.看護研究Ⅱで取り組みたい研究テーマを考え、テーマに関連する先行研究を検索する。 3.研究Ⅱで取り組みたいテーマ、動機と背景、研究目的、引用文献を記載して初回の授業に出席する。 4.各回の授業までに、各自が準備し持参する事柄をチーム内で共有し責任を明確にしておく。	10.12.13.17.18

科目全体のねらい・授業目標
1. 研究計画書を作成できる 2. 共同研究で看護研究を行い、成果を抄録、論文、ポスターを作成する。 3. 研究発表会の運営を体験し、共同研究の成果を発表し質疑応答に応じることができる。

授業の流れ(全体のスケジュール(回数)・学習内容・方法・学習成果・使用テキスト・準備物品等)

回	学習目標	形態	内容	時期	備考
1~2	看護研究Ⅱのガイダンスを受け、共同研究のメンバーと協同して目標達成に取り組み、研究の進め方を検討することができる。	ゼミ形式	研究Ⅱガイダンス 各自の関心があるテーマ、動機と背景、研究目的の発表	4月	①個人が考える研究テーマ、動機と背景、研究目的、引用文献をA4用紙1枚に記載し持参する。
3~4	リサーチエッセンスを明確にして、先行研究を検索し、取り組みの方向性を明確にできる。	ゼミ形式	1.共同研究として取り組むテーマと先行研究の検索、方向性を検討する。	4月	★研究発表と論文作成を目指し研究のステップと並行して進めていく。論文の担当教員の決定
5~6	文献検索とクリティークを行い、研究計画を検討することができる。	ゼミ形式	文献検索とクリティーク/文献の整理(引用文献として記載する準備)	4月	学生と科目担当教員と論文担当教員との打ち合わせ
7~8	研究テーマ、研究の動機と背景、先行研究のレビュー、研究目的までを研究計画書で成文化することができる。	ゼミ形式	共同研究のテーマ、動機と背景、研究目的	5月	
9~12	研究方法(調査内容を含む)、研究の倫理的配慮までを含めた研究計画書を作成できる。	ゼミ形式	研究計画書の作成/調査内容の検討	6月	②研究計画書の提出
13~14	調査の被験者と調査内容を検討することができる。	ゼミ形式	調査の準備/実施	7月	
15~16	調査を実施しデータを収集することができる。	ゼミ形式	調査の準備/実施	7月	
17~18	データの入力と分析をすることができる。	ゼミ形式	調査のデータ入力と分析、結果の確認	9月	
19~20	データの分析結果を元に図表を作成することができる。	ゼミ形式	データの分析結果の確認と図表作成	9月	
21~22	考察と結論、研究の限界と課題を検討することができる。	ゼミ形式	考察の検討	10月	
23~24	抄録と発表資料を完成させることができる。	ゼミ形式	抄録の作成 発表資料の作成	10月	③抄録の提出
25~26	論文を完成させることができる。	ゼミ形式	発表会の準備 配布資料の印刷と配布準備	10月	④発表資料の提出
27~28	発表会の準備とリハーサルを行うことができる。	ゼミ形式	発表会の準備 配布資料の印刷と配布準備	11月	⑤論文の提出
29~30	研究を発表することができる。 個人とグループで研究の振り返りを行うことができる。	発表	研究発表会	11月	⑥発表会への参加と発表 ⑦振り返りの提出

受講上の注意	評価方法	100点満点
1.授業はゼミ形式で共同研究とします。 2.共同研究に対する「個人の責任」を自覚し、チームメンバーと浮沈を共にして研究発表までのプロセスが成功するように「主体的」に取り組みます。 3.共同研究にただ乗りする人がいた場合は、チームで「協同」のあり方について話し合い解決します。 4.指示された役割をチームで話し合っ分担し、責任を持って果たし合います。 5.チームの統括責任者は科目と論文の担当教員と、密に連絡・相談・報告を行います。	①個人の研究テーマ、動機と背景、研究目的、引用文献 10点 ②研究計画書の作成と提出 20点 ③抄録の作成と提出 10点 ④発表資料の提出 10点 ⑤論文の提出 30点 ⑥発表会への参加と発表 10点 ⑦振り返りの提出 10点	

使用するテキスト
系統看護学講座 別巻 看護研究 医学書院
参考文献

科目No. 93		担当時期	4年次後期	担当者	にしはら かずみ 西原 和美 くぼた ゆみこ 久保田 有美子 1~4・ 8~12回 阿形 奈津子
科目名	看護の統合と実践 災害看護と救命救急	単位数	1単位	回数	3回
時間割表記名	災害看護と救命救急	時間数	30時間(15回)	科目と期待する卒業生像との関連	7. 8. 9. 10
事前学習内容 授業の流れに応じて、テキストを熟読してください。(一度は必ず読むこと) 講義は演習との組み合わせですので、必ず次の授業の準備をしておいてください。(復習・予習)					
科目全体のねらい・授業目標 災害には、平常時の備え、危機管理体制の構築、災害発生時の救急医療、災害中長期の生活支援、復興に向かう支援など、長期にわたり、形を変えた支援が求められる。人々の生活と生命を護る専門職である看護職者は、災害時には大きな力を発揮することが求められる。災害の概念、時期に応じた役割機能を理解し、災害時の看護が実践できるための基礎的な知識・技術ができる。					
授業の流れ(全体のスケジュール(回数)・学習内容・方法・学習成果・使用テキスト・準備物品等)					
担当	学習内容	方法	学習成果	使用テキスト・準備	
西原	救急医療の定義、救急医療の変遷 救急看護の役割 救急看護の場 救急医療と法	講義	1. 救急看護の定義と特徴が理解できる。 2. 救急看護の場と役割、看護が理解できる。	①フィジカルアセスメント ガイドブック	
	救急看護の役割と実際 (外傷時、救急外来)	講義	1. 救急患者の特徴に応じた看護が理解できる。 2. 救急患者に応じた救急処置の実際が理解できる。	①フィジカルアセスメント ガイドブック	
	救急時の観察技術とアセスメント	講義	1. 救急患者の状態把握のための観察技術とアセスメントの 視点が理解できる。	①フィジカルアセスメント ガイドブック	
1回目 2回目 3回目	災害の歴史・災害発生と救護活動・ 災害看護の発展と今後 災害の定義、災害看護の定義と役 割・災害の種類とその疾病構造	講義 演習	災害の歴史を理解し、近年の災害発生の状況と救護活動、災害 看護の発展から今後の課題について理解する。 災害看護の役割を理解し、災害の種類や疾病構造に応じた看護 活動について理解する。	②災害看護学	
4回目	災害超急性期～災害医療の実際(安 全確保(CSCA)・情報伝達・病院で の初期対応の演習	講義 演習	災害急性期を理解し、災害医療について理解することができる。 演習を通して超急性期に必要な発災時の初期対応の流れを理 解し、実際に体験できる。	②災害看護学 演習準備(情報伝達のため に必要な手段として携帯 電話を準備してください)	
5回目	東日本大震災における災害医療 災害看護の概要	講義	東日本大震災での医療・看護活動から 今後の課題を理解する	②災害看護学	
6回目	急性期の災害医療・災害看護活動 災害時の3T(トリアージ)	講義	災害時のトリアージの方法を理解する	②災害看護学	
7回目	急性期の災害医療・災害看護活動 災害時の3T(トリートメント)	講義	災害現場での応急処置の目的・順序と限界を理解する。	②災害看護学	
8回目	災害急性期から災害中長期の看護 の実際(被災者の受け入れ病棟シ ミュレーション・資源の確保)	講義 技術演習	災害急性期～災害中長期を理解し、必要な看護について理解 することができる 災害時の情報共有と情報伝達 携帯電話の活用・トランシーバー の使い方・病院発災シミュレーション(病院トリアージの実際)	②災害看護学	
9回目 10回目	災害中長期の看護の実際(避難所 を整える・避難所生活を支える)	看護保健 学科と 合同演習	災害時の避難所の配置と避難所生活の調整についてシミュレ ーションを通して考える。	②災害看護学	
11回目	災害に関連した特殊な医療・看護実 践・災害特有の疾病・国際貢献	講義 演習	近年の災害と特殊な医療(CSM・CBRNE)・特有の疾病とその 看護・国際的な災害支援	②災害看護学	
12回目	災害中長期の看護の実際(避難所 生活を基盤とする支援・地域復興へ の支援・防災活動) 被災者の心理過程と心のケア	講義 演習	災害中長期を理解し、必要な看護を理解できる。被災者の心理 を理解し、心理過程に応じた心のケアが理解できる。	②災害看護学	
受講上の注意 講義と演習の組み合わせです。実践を通して学ぶことが求められます。 西原: テキストに沿って講義をします。必ずテキストを準備して下さい。 久保田: テキストを活用し、講義中心で行います。板書なし。集中して臨んでください。 阿形: 演習の出席点評価となります。必ず出席し、演習は積極的に取り組んでください。 災害看護の第9回目と10回目は看護学科との合同演習です。出席点10点です。				評価方法 西原: 筆記試験(20点) 久保田: 筆記試験(20点) 阿形: 60点(出席点10点)	
使用するテキスト ①フィジカルアセスメントガイドブック(医学書院) ②新体系看護学全書 看護の統合と実践② 災害看護学(メチカルフレンド社)					
参考文献 救急看護論(ヌーヴェルヒロカワ)、急性期看護論(ヌーヴェルヒロカワ)、New図解救急ケア(学習研究社)、 災害現場でのトリアージと応急処置(日本看護協会出版会) 演習で学ぶ災害看護(南山堂)、災害看護 心得ておきたい基本的な知識(南山堂) 被災病院における発災直後の看護活動(DVD)					